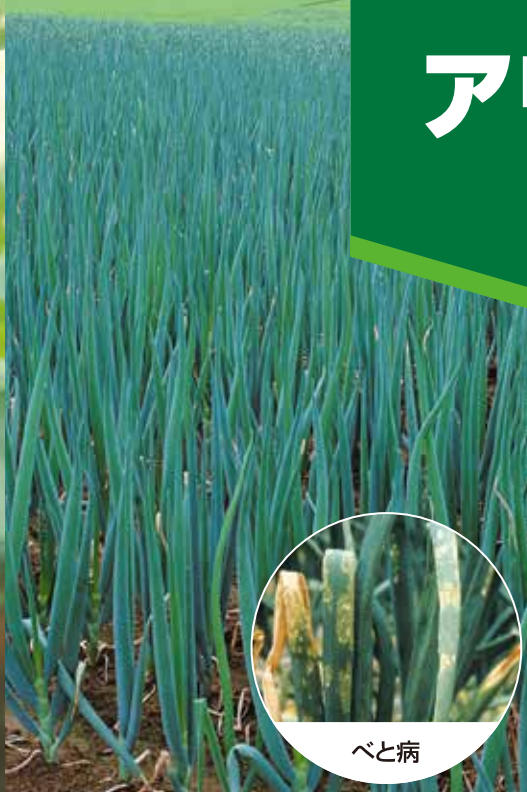




浸透移行性殺菌剤



アリエッティ[®]
水和剤



作物の自己防衛機能強化による確かな効きめ



多くの作物をカバーする確かな効きめ

アリエッティ水和剤



登録番号：第15548号

- 成分：ホセチル………80.0% [殺菌剤分類 P07]
- 毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指すという通称）

特異な作用性

ホセチルは直接的な殺菌作用と、間接的な抵抗性誘導作用により効果を発揮します。

浸透移行性に優れる

浸透移行性に優れ、植物体内の樹液の流れによって速やかに上下方向に移行。散布後に展開した新葉も保護します。

耐性菌の心配が少ない

優れた二つの作用により耐性菌の心配はほとんどありません。また、既存の殺菌剤とは作用性が全く異なるため、交差耐性の心配もほとんどありません。

適用病害および使用方法

2020年10月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用液量 (ℓ)	使用時期	使用回数*		使用方法
					本剤	ホセチル	
ぶどう	べと病	800	200~700	30日*	3回	3回	散布
かんきつ	苗疫病	400~800		前日*			
	褐色腐敗病			14日*			
なし	黒斑病	800		幼果期 ただし120日*			
	疫病	800~1000	7日*	3回	3回		
キウイフルーツ	果実軟腐病	600	—	植付時	1回	2回	苗浸漬
パッションフルーツ	疫病	800	100ml/株	開花期	2回	(苗浸漬は1回)	土壌灌注
パイナップル	心腐病	200		—	—	—	—
パイナップル	心腐病	400~800	100ml/株	開花期	2回	(苗浸漬は1回)	土壌灌注
	根腐萎凋病						
さるなし	果実軟腐症	600	200~700	60日*	1回	1回	散布
りんご	すす点病	800~1000		前日*	3回	3回	
	すす斑病						
	斑点落葉病						
りんご	褐斑病	1000	7日*	3回	3回		
にんじん	黒葉枯病	800	前日*				
かぼちゃ	疫病	400~800	3日*				
かぼちゃ	べと病		前日*				
きゅうり	べと病	800	100~300	3日*	2回	2回	散布
メロン	べと病						
ねむぎ	べと病	800	100~300	前日*	2回	2回	散布
ねむぎ	疫病						
ほうれんそう	べと病	1500	100~300	前日*	2回	2回	散布
ほうれんそう	白斑病						
みつば	べと病	1000	600	14日* 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	2回	2回	散布
畑わさび(根茎)	べと病	600		21日*	3回	3回	
わさび(根茎)				畑育苗期			
サラダ菜	褐斑病	1500		3日*	2回	2回	
エンサイ	白さび病	1000	7日*				
たばこ	疫病	400~800	200ml/株	大土寄時	2回	2回	株元灌注
	舞病		100ml/株	移植時			
ホップ	べと病	800	200~700	14日*	3回	3回	散布
なばな	白さび病	2000	100~300	前日*	2回	2回	

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

上手な 使い方

- 予防散布を主体とし、発生前から初発時に散布すると効果的です。
- 作物の生長が盛んな時期の散布は、特に効果があります。

⚠ 使用上の注意事項

- 散布液調製後できるだけ速やかに散布して下さい。
 - 石灰硫黄合剤およびボルドー液との混用はさけて下さい。
 - 無機銅を含む剤との混用および近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。また、葉面散布肥料との混用は薬害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。
 - ほうれんそう、わけぎに使用する場合、誤って高濃度で散布すると薬害を生じることがあるので、所定濃度を厳守し、重複散布をさけて下さい。
 - なし(ただし、幸水、豊水を除く)に使用する場合、6月中旬までの散布は、葉に薬害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。なお、幸水および豊水に使用する場合、6月中旬までの散布は、葉にクロロシス等を生じる場合がありますが、通常は実用上問題ない程度です。
 - かんきつに使用する場合、未硬化葉がコルク化する薬害が生じるおそれがあるので留意して下さい。
 - みかんに使用する場合、高温時は日焼け果発生を助長するおそれがあるので注意して下さい。
 - ぶどうに使用する場合、幼果期から果粒肥大期の散布は、果粉の溶脱を引き起こすので使用はさけ、新梢伸長期から落花期までおよび袋掛け以降に使用して下さい。
 - 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落として下さい。
- ☆フロアブル剤と混用する場合、必ずフロアブル剤を最初に所定濃度に希釈してから本剤を加えて下さい。

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00
土日祝日および会社休日を除く

F-2017 20.10.NY